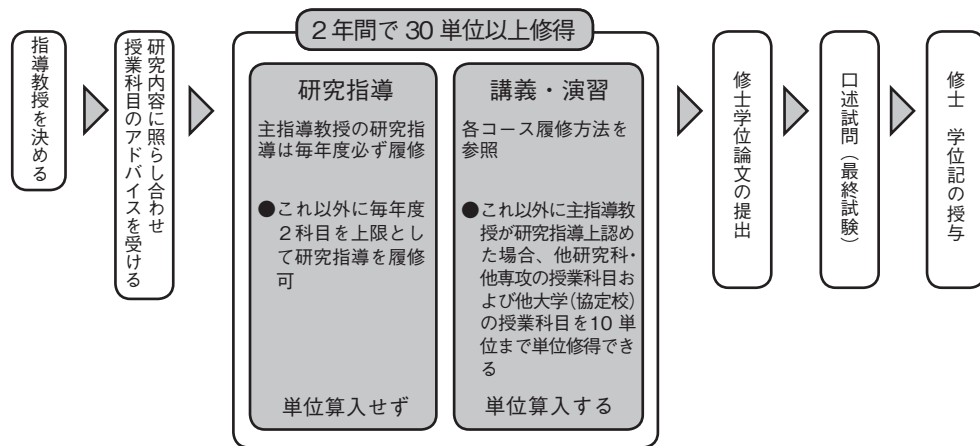


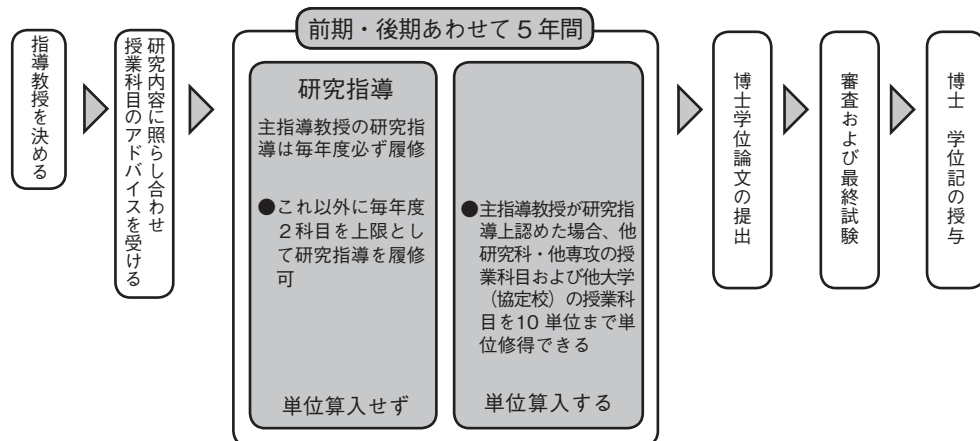
# [経済学研究科]

## 経済学専攻

### 前期課程 履修の流れ



### 後期課程 履修の流れ



# 経済学専攻

## 博士前期課程〔経済学研究コース〕

(修了に必要な単位数)

授業科目・研究指導区分	経済学研究コース
基礎科目	14単位
専門科目	8単位以上
修了必要単位数	30単位以上 (以上の他、基礎科目、専門科目から単位を充足させること)

授業科目・研究指導		講義・演習の別	単位	職名	担当教員	備考	
基礎科目	上級ミクロ経済学	講義	4	教授	佐々木 啓介	必修	
	上級マクロ経済学	講義	4	教授	斎藤 孝	必修	
	経済学方法論	演習	2	教授	吉田 明子	必修(前期開講)	
	総合演習Ⅰ	演習	2	教授	城川 俊一	1年生対象・必修	
	総合演習Ⅱ	演習	2	教授	城川 俊一	2年生対象・必修	
専門科目	〔理論・歴史〕	上級経済理論	講義	4	教授	佐々木 啓介	上級経済理論研究指導と共通
		上級経済理論Ⅱ	講義	4	教授	斎藤 孝	上級経済理論研究指導Ⅱと共通
		経済学説	講義	4	教授	今東 博文	現代政治経済学研究指導と共通
		統計・計量経済学	講義	4			本年度休講(隔年開講)
		統計・計量経済学Ⅱ	講義	4	准教授	隅田 和人	データ解析研究指導と共通(隔年開講)
		日本経済史	講義	4	教授	穂本 洋哉	日本経済史研究指導と共通
		西欧経済史	講義	4	教授	道重 一郎	西欧経済史研究指導と共通
		経済発展論	講義	4	教授	藤井 信幸	経済発展論研究指導と共通
	〔政策〕	経済政策	講義	4	教授	益田 安良	経済政策論研究指導と共通
		国際経済	講義	4	教授(兼担)	中北 徹	貿易論研究指導と共通
		公共経済	講義	4			本年度休講
		地域経済	講義	4			本年度休講
		中小企業論	講義	4	教授	安田 武彦	中小企業論研究指導と共通
		産業組織	講義	4	教授	吉田 明子	産業組織論研究指導と共通
		社会保障	講義	4	准教授	川瀬 晃弘	社会保障研究指導と共通
		労働経済	講義	4	教授	今村 肇	労働経済論研究指導と共通
	〔財政〕	財政学Ⅰ	講義	4			本年度休講
		財政学Ⅱ	講義	4	教授	大野 裕之	財政学研究指導Ⅱと共通
		財政学Ⅲ	講義	4			本年度休講
		財政学Ⅳ	講義	4			本年度休講
		財政学Ⅴ	講義	4			本年度休講
	〔金融〕	金融論	講義	4	教授	棟近 みどり	金融論研究指導と共通
		金融論Ⅱ	講義	4	教授	竹澤 康子	金融論研究指導Ⅱと共通
	〔社会・情報〕	社会経済システム	講義	4	教授	浅野 清	社会経済思想論研究指導と共通
		情報経済	講義	4	教授	城川 俊一	情報経済システム論研究指導と共通
環境経済		講義	4	教授	小川 芳樹	環境経済論研究指導と共通	
アジア経済		講義	4	教授	郝 仁平	アジア経済論研究指導等と共通	
特講Ⅰ		講義	4			本年度休講	

授業科目・研究指導		講義・演習の別	単位	職名	担当教員	備考
研究指導	〔理論・歴史〕	上級経済理論研究指導		教授	佐々木 啓介	
		上級経済理論研究指導Ⅱ		教授	斎藤 孝	
		現代政治経済学研究指導		教授	今東 博文	
		経済学説史研究指導				本年度休講
		データ解析研究指導		准教授	隅田 和人	
		実証経済分析研究指導				本年度休講
		日本経済史研究指導		教授	穂本 洋哉	
		西欧経済史研究指導		教授	道重 一郎	
		経済発展論研究指導		教授	藤井 信幸	
	〔政策〕	経済政策論研究指導		教授	益田 安良	
		中小企業論研究指導		教授	安田 武彦	
		貿易論研究指導		教授(兼任)	中北 徹	2010年度以前入学生のみ履修可
		国際経済論研究指導				本年度休講
		公共政策研究指導				本年度休講
		公共システム論研究指導				本年度休講
		アジア経済論研究指導		教授	郝 仁平	
		農業経済論研究指導				本年度休講
		日本経済論研究指導				本年度休講
	〔財政〕	産業組織論研究指導		教授	吉田 明子	
		社会保障研究指導		准教授	川瀬 晃弘	
		労働経済論研究指導		教授	今村 肇	
		財政学研究指導Ⅰ				本年度休講
		財政学研究指導Ⅱ		教授	大野 裕之	
	〔金融〕	財政学研究指導Ⅲ				本年度休講
		財政学研究指導Ⅳ				本年度休講
		財政学研究指導Ⅴ				本年度休講
	〔社会・情報〕	金融論研究指導		教授	棟近 みどり	
		金融論研究指導Ⅱ		教授	竹澤 康子	
国際金融論研究指導					本年度休講	
社会経済システム論総論研究指導					本年度休講	
	社会経済思想論研究指導		教授	浅野 清		
	情報経済システム論研究指導		教授	城川 俊一		
	環境経済論研究指導		教授	小川 芳樹		

### 履修方法

- 履修する授業科目は、「総合演習Ⅰ・Ⅱ」および指導教授の指示を受けて決定すること。
- 「研究指導」は、年度毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・単位修得（0単位）することができる（各研究指導は、指定された講義において行う）。
- 主指導教授の「研究指導」は、毎年度必ず履修すること。
- 副指導教授の「研究指導」は、在学中1回以上履修すること。
- 主指導教授が担当する「講義」は、在学中2回（8単位）まで履修・単位修得することができ、かつ修得した単位は修了単位として認められる（「研究指導」と共通して開講されているもので、1科目のみが対象となる）。
- 上記5. 以外の「演習」または「講義」は、在学中1回のみ履修・単位修得（4単位）することができる（よって、同一科目を2回以上履修・単位修得することはできない）。
- 経済学専攻内他コースの授業科目も履修することができる。この場合、事前に科目担当者の許可を得ること。この単位は、修了要件の単位に充当する。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を10単位まで単位修得することができる（同一名称の科目は1回のみ単位修得することができる）。修得した単位は修了要件の単位に充当する。

博士前期課程〔環境学研究コース〕

(修了に必要な単位数)

授業科目・研究指導区分	環 境 学 研 究 コ ー ス
基 礎 科 目	8 単 位 以 上
専 門 科 目	8 単 位 以 上
修了必要単位数	30 単 位 以 上 (以上の他、基礎科目、専門科目から単位を充足させること)

授業科目・研究指導		講義・演習の別	単 位	職 名	担当教員	備 考	
基礎科目	環 境 と 社 会 経 済	講 義	2	非常勤講師	信 澤 由 之	必修 (前期開講)	
	上 級 ミ ク ロ 経 済 学	講 義	4	教 授	佐々木 啓 介		
	総 合 演 習 I	演 習	2	教 授	山 谷 修 作	1 年 生 対 象 ・ 必 修	
	総 合 演 習 II	演 習	2	教 授	山 谷 修 作		
専門科目	環 境 学	環 境 学	講 義	2	教 授	鈴 木 孝 弘	必修 (前期開講) / 環境学研究指導と共通
		環 境 経 済 学	講 義	4	教 授	小 川 芳 樹	環境経済学研究指導と共通
		環 境 政 策	講 義	4	教 授	山 谷 修 作	環境政策研究指導と共通
		会 計 と 環 境	講 義	4	客員教授	柳 裕 治	会計と環境研究指導と共通
		環 境 税 特 論	講 義	2	教授(兼担)	和 田 尚 久	(前期開講)
		公 害 対 策 論	講 義	4	客員教授	神 山 宣 彦	公害対策論研究指導と共通
		環 境 学 特 論	講 義	2	教 授	鈴 木 孝 弘	(後期開講) / 環境学研究指導と共通
	理論・歴史	統 計 ・ 計 量 経 済 学	講 義	4	准 教 授	隅 田 和 人	
		経 済 政 策	講 義	4	教 授	益 田 安 良	
	〔財政〕	財 政 学 I	講 義	4			本年度休講
		財 政 学 II	講 義	4	教 授	大 野 裕 之	
		財 政 学 III	講 義	4			本年度休講
		財 政 学 IV	講 義	4			本年度休講
		財 政 学 V	講 義	4			本年度休講
	研究指導	環 境 学 研 究 指 導			教 授	鈴 木 孝 弘	
環 境 経 済 学 研 究 指 導				教 授	小 川 芳 樹		
環 境 政 策 研 究 指 導				教 授	山 谷 修 作		
会 計 と 環 境 研 究 指 導				客員教授	柳 裕 治		
公 害 対 策 論 研 究 指 導				客員教授	神 山 宣 彦		

履修方法

- 履修する授業科目は、「総合演習 I・II」および指導教授の指示を受けて決定すること。
- 「研究指導」は、年度毎に3科目(主指導教授1名・副指導教授2名)を上限として、履修・単位修得(0単位)することができる(各研究指導は、指定された講義において行う)。
- 主指導教授の「研究指導」は、毎年度必ず履修すること。
- 副指導教授の「研究指導」は、在学中1回以上履修すること。
- 主指導教授が担当する「講義」は、在学中2回(8単位)まで履修・単位修得することができ、かつ修得した単位は修了単位として認められる(「研究指導」と共通して開講されているもので、1科目のみが対象となる)。
- 上記5. 以外の「演習」または「講義」は、在学中1回のみ履修・単位修得(4単位)することができる(よって、同一科目を2回以上履修・単位修得することはできない)。
- 経済学専攻内他コースの授業科目も履修することができる。この場合、事前に科目担当者の許可を得ること。この単位は、修了要件の単位に充当する。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学(協定校)の授業科目を10単位まで単位修得することができる(同一名称の科目は1回のみ単位修得することができる)。修得した単位は修了要件の単位に充当する。

博士後期課程

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	職名	担当教員	備考
理論経済学研究指導①					本年度休講
理論経済学研究指導②			教授	佐々木 啓介	
現代政治経済学研究指導					本年度休講
日本経済史研究指導			教授	穂本 洋哉	
経済学説史研究指導					本年度休講
統計・計量経済学研究指導					本年度休講
財政学研究指導Ⅰ①					本年度休講
財政学研究指導Ⅰ②					本年度休講
財政学研究指導Ⅰ③			教授	大野 裕之	
財政学研究指導Ⅱ					本年度休講
経済政策論研究指導					本年度休講
金融論研究指導					本年度休講
農業経済論研究指導					本年度休講
中小企業論研究指導					本年度休講
日本経済論研究指導			教授	益田 安良	
貿易論研究指導			教授	中北 徹	
地方財政論研究指導					本年度休講
西欧経済史研究指導			教授	道重 一郎	
社会経済システム論総論研究指導					本年度休講
社会経済思想論研究指導					本年度休講
情報経済システム論研究指導①			教授	城川 俊一	
情報経済システム論研究指導②			教授	山田 肇	
公共システム論研究指導			教授	松原 聡	
公共政策研究指導①					本年度休講
公共政策研究指導②					本年度休講
環境学研究指導			教授	鈴木 孝弘	
環境経済論研究指導			教授	小川 芳樹	
環境政策研究指導			教授	山谷 修作	
労働経済論研究指導			教授	今村 肇	

履修方法

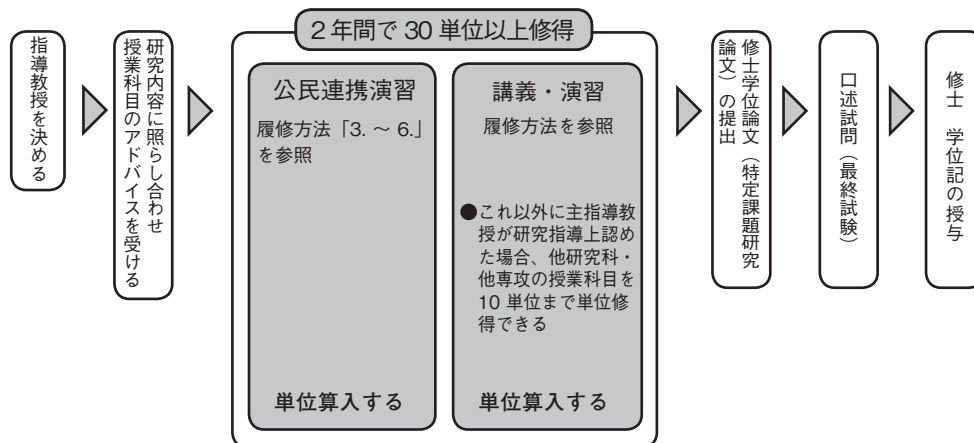
- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 「研究指導」は、年度毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・単位修得（0単位）することができる。
- 主指導教授の「研究指導」は、毎年度必ず履修すること。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を10単位まで単位修得することができる（同一名称の科目は1回のみ単位修得することができる）。



# 公民連携専攻

修士課程

履修の流れ



公民  
連携

# 公 民 連 携 専 攻

## 修士課程

(修了に必要な単位数)

必修科目	4単位
選択必修科目	4単位以上
修了必要単位数	30単位以上

	授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位		職 名	担当教員	備 考	
			春	秋				
必修科目	PPP 制度手法	PPP 総論 I	講義	2	教授	根本 祐二		
		PPP 総論 II	講義	2	教授	根本 祐二		
選択必修科目	演 習	公民連携演習 I ①	演習	2	2	教授	中北 徹	}
		公民連携演習 I ②	演習	2	2	教授	山田 肇	
		公民連携演習 I ③	演習	2	2			本年度休講
		公民連携演習 I ④	演習	2	2	教授	松原 聡	}
		公民連携演習 I ⑤	演習	2	2	准教授	川崎 一泰	
		公民連携演習 I ⑥	演習	2	2	教授	根本 祐二	1セメスタ対象
		公民連携演習 I ⑦	演習	2	2	客員教授	関 幸子	}
		公民連携演習 I ⑧	演習	2	2	教授	サム田 洵	
		公民連携演習 I ⑨	演習	2	2	客員教授	金谷 隆正	}
		公民連携演習 I ⑩	演習	2	2	客員教授	清水 義次	
		公民連携演習 I ⑪	演習	2	2	教授	根本 祐二	[遠隔専門]
		公民連携演習 II ①	演習	2	2	教授	中北 徹	}
		公民連携演習 II ②	演習	2	2	教授	山田 肇	
		公民連携演習 II ③	演習	2	2			本年度休講
		公民連携演習 II ④	演習	2	2	教授	松原 聡	}
		公民連携演習 II ⑤	演習	2	2	准教授	川崎 一泰	
		公民連携演習 II ⑥	演習	2	2	教授	根本 祐二	2セメスタ対象
		公民連携演習 II ⑦	演習	2	2	客員教授	関 幸子	}
		公民連携演習 II ⑧	演習	2	2	教授	サム田 洵	
		公民連携演習 II ⑨	演習	2	2	客員教授	金谷 隆正	}
		公民連携演習 II ⑩	演習	2	2	客員教授	清水 義次	
		公民連携演習 II ⑪	演習	2	2	教授	根本 祐二	[遠隔専門]
		公民連携演習 III ①	演習	2	2	教授	中北 徹	}
		公民連携演習 III ②	演習	2	2	教授	山田 肇	
		公民連携演習 III ③	演習	2	2			本年度休講
		公民連携演習 III ④	演習	2	2	教授	松原 聡	}
		公民連携演習 III ⑤	演習	2	2	准教授	川崎 一泰	
		公民連携演習 III ⑥	演習	2	2	教授	根本 祐二	3セメスタ対象
		公民連携演習 III ⑦	演習	2	2	客員教授	関 幸子	}
		公民連携演習 III ⑧	演習	2	2	教授	サム田 洵	
		公民連携演習 III ⑨	演習	2	2	客員教授	金谷 隆正	}
		公民連携演習 III ⑩	演習	2	2	客員教授	清水 義次	
		公民連携演習 III ⑪	演習	2	2	教授	根本 祐二	[遠隔専門]
		公民連携演習 IV ①	演習	2	2	教授	中北 徹	}
		公民連携演習 IV ②	演習	2	2	教授	山田 肇	
		公民連携演習 IV ③	演習	2	2			本年度休講
		公民連携演習 IV ④	演習	2	2	教授	松原 聡	}
		公民連携演習 IV ⑤	演習	2	2	准教授	川崎 一泰	
		公民連携演習 IV ⑥	演習	2	2	教授	根本 祐二	4セメスタ対象
		公民連携演習 IV ⑦	演習	2	2	客員教授	関 幸子	}
		公民連携演習 IV ⑧	演習	2	2	教授	サム田 洵	
公民連携演習 IV ⑨	演習	2	2	客員教授	金谷 隆正	}		
公民連携演習 IV ⑩	演習	2	2	客員教授	清水 義次			
公民連携演習 IV ⑪	演習	2	2	教授	根本 祐二	[遠隔専門]		

公 民 連 携



コース	授業科目・研究指導	サブタイトル	講義・演習の別	単位		職名	担当教員	備考
				春	秋			
選択科目	シティ・マネジメントコース	シティ・マネジメントⅠ	日本の地方行財政制度	講義	2	客員教授	南学	
		シティ・マネジメントⅡ	地域リーダー論	講義	2	客員教授	関幸子	
		シティ・マネジメントⅢ	ICMA 連携科目:世界のシティ・マネジメント	講義	2	教授	サム田 潤	
		シティ・マネジメントⅣ	バランス予算手法実践	講義	2	教授	サム田 潤	
		シティ・マネジメントⅤ	公共施設・インフラマネジメント	講義	2	教授	根本 祐二	(集中講義)
		シティ・マネジメントⅥ	地域情報化	講義	2	教授	山田 肇	(隔年開講)
	Global PPP コース	Global PPP Ⅰ	海外PPP制度手法論	講義	2	客員教授	美原 融	
		Global PPP Ⅱ	国連PPP推進局連携科目:世界のPPP政策	講義	2	教授	サム田 潤	
		Global PPP Ⅲ	English Presentation	講義	2	講師	ジョセフ リング	
		Global PPP Ⅳ	Best Proposal for RFP	講義	2	客員教授	ゲイリー・ミラー	
		Global PPP Ⅴ	Asian Economy	講義	2	非常勤講師	姜 雪 潔	
		Global PPP Ⅵ	世界のインフラPPP	講義	2	客員教授	中村 賢一	
	PPPビジネスコース	PPPビジネスⅠ	PPPケーススタディ	講義	2	教授	根本 祐二	
		PPPビジネスⅡ	NCPPP 連携科目:世界のPPPビジネス	講義	2	教授	サム田 潤	
		PPPビジネスⅢ	PPPビジネスモデル	講義	2	客員教授	阿部 仁志	
		PPPビジネスⅣ	PPPプランニング論	講義	2	客員教授	金谷 隆正	
		PPPビジネスⅤ	まちづくりビジネス論	講義	2	客員教授	清水 義次	
		PPPビジネスⅥ	財務計画論	講義	2	客員教授	林原 行雄	
選択科目	経済学基礎		講義	2	客員教授	吉村 慎治		
	公共経済学		講義	2			本年度休講(隔年開講)	
	政策評価論		講義	2	教授	松原 聡	(隔年開講)	
	PPP経済理論		講義	2	教授	加賀見 一彰		
	金融論基礎		講義	2	教授	中北 徹		
	地域金融論		講義	2			本年度休講	
	PPPファイナンス論		講義	2	客員教授	金谷 隆正		
	財政学基礎		講義	2	准教授	川崎 一泰		
	日本の経済財政		講義	2			本年度休講	
	PPPビジネスマネジメント論		講義	2	客員教授	林原 行雄		
	財務分析論		講義	2	客員教授	佐藤 真良		
	知的財産マネジメント論		講義	2			本年度休講(隔年開講)	
	ビジネス英語		講義	2			本年度休講(隔年開講)	
	PPP論文研究		講義	2	教授	根本 祐二		
	PPP制度手法論		講義	2	客員教授	美原 融		
	環境経済学		講義	2	教授(兼担)	小川 芳樹		
	エネルギー経済論		講義	2	教授(兼担)	小川 芳樹		
	民間プロジェクト論		講義	2	客員教授	清水 義次		
PPPプロジェクト演習①		講義	2	教授	サム田 潤			
PPPプロジェクト演習②		講義	2	教授	サム田 潤			
PPPデザイン論		講義	2	客員教授	片桐 徹也			

## 履修方法

1. 履修する授業科目は入学時ガイダンス、主指導教授の指示を受けて決定すること。
2. 修了に必要な単位数は、以下の条件を満たし、合計30単位以上履修・単位修得すること。  
なお、授業科目は、演習科目と講義科目に分類されている。
3. 「30単位以上」の内訳については次のとおり履修・単位修得すること。
  - ①必修科目4単位（「PPP 総論Ⅰ」2単位、「PPP 総論Ⅱ」2単位）
  - ②選択必修科目から4単位以上（「公民連携演習Ⅰ～Ⅳ」各2単位）
  - ③上記①②の条件および全体の科目分類の中から合計30単位以上
 ※ 同一名称科目および同一名称科目の①②等のコース科目は、下記4～9の条件以外、複数回履修・単位修得でき、修得した単位はすべて修了単位として認められる。ただし、授業科目の授業運営上、履修登録を制限することがある。
4. 主指導教授は、「公民連携演習」担当教員から1名決定すること。主指導教授の演習または講義は、毎セメスタ必ず1科目以上履修すること。
5. 副指導教授は、主指導教授の指示を受けて1名または2名決定すること。  
副指導教授は、専任教員（教授・特任教授）または客員教授の、演習または講義担当者から決定すること。  
副指導教授の演習または講義は、2単位以上履修することが望ましい。
6. 主または副指導教授（1名）の「公民連携演習」は、Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ→Ⅳの順に毎セメスタ必ず履修し、修了までに4単位以上必ず履修・単位修得すること。  
（注）4及び6は、副指導教授の演習を履修しつつ、修士論文または特定課題研究論文他の指導を主指導教授から受けることを可能とする趣旨である。  
5セメスタ以上在学する場合（Ⅰ～Ⅳを修得済み）は、再度Ⅳを履修し、指導を受けること。
7. 主または副指導教授は、各人の希望もしくは教育的配慮にもとづいて、当該院生及び教員の合意のもとにセメスタごとに変更することがある。
8. 修了要件として、修士学位論文または特定課題研究論文の作成および最終試験（口述）合格が必須である。  
特定課題研究論文の様式・提出スケジュール等は修士学位論文に準ずる。書式等に関しては下表を参照すること。
9. 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目を10単位まで単位修得することができる（同一名称の科目は1回のみ単位修得することができる）。修得した単位は修了要件の単位に充当する。
10. 本専攻以外の学生が履修することはできない。

	修士論文	特定課題研究
趣 旨	公民連携に関連するテーマに関する考察	
目 的	「広い視野に立って精深な学識を授け専攻分野における研究能力を培う」（大学院設置基準第3条）という修士課程の趣旨に沿ったものであること	企業、政策官庁、自治体などに対して提案し相手方に検討を促すものであること
審 査 項 目	以下を総合的に判断する 1 独創性（課題の把握・整理法方、解決方法の独創性） 2 論理的一貫性（解決方法の合理性、論証による説得力、一貫性） 3 理論的発展性（公民連携の制度や手法に対する発展性） 4 適時性（公民連携一般の抱える課題や、提案先が抱える課題への適時性） 5 応用可能性（社会的貢献性）（課題解決に当たり検討すべき諸問題の考察、提案の実現可能性）	
形 式	論文形式	論文形式またはプレゼンテーション資料を組み合わせた計画書形式。計画書の場合はプレゼンテーション資料のみによって誤解なく意図を伝えられるように十分な論拠及び説明を織り込む。
文 字 数	目安として60,000字程度以上	目安として40,000字程度以上。計画書の場合は、これと同等以上と認められる水準にあること。